

<<最終更新日：2017年03月18日>>

[English](#)**基本情報**

時間割コード／Course Code	10B945
開講区分(開講学期)／Semester	春～夏学期
曜日・時間／Day and Period	月4
開講科目名／Course Name (Japanese)	(地域系科目) 日本語教育学講義Ⅲ a
教室／Room	E 1 0 1
開講科目名(英)／Course Name	Lecture on Japanese Language EducationⅢ
定員／Capacity	0
ナンバリング／Course Numbering Code	10FOST3BR01
単位数／Credits	2.0
年次／Student Year	2,3,4年
担当教員／Instructor	真嶋 潤子

[授業担当教員一覧](#)**詳細情報**

講義題目／Course Name	日本語教育のための第二言語習得論
開講言語／Language of the Course	日本語
授業形態／Type of Class	講義科目
授業の目的と概要／Course Objective	将来、言語教育特に日本語教育の分野で活躍するために、第二言語習得論の基礎を学ぶ。また日本語教育の分野で卒論を書くことを念頭に置いている受講生に、研究方法の知識を身につける手助けをする。
学習目標／Learning Goals	日本語教育における第二言語習得研究の基礎知識を学び、この分野の論文を批判的に読むための目を養う。
履修条件・受講条件／Requirement / Prerequisite	特になし。
授業計画／Class Plan	第1回 オリエンテーション 2～4 第1言語習得と第2言語習得の違い 5～7 学習者の個人差 8～10 第二言語習得の説明理論 11 学習環境の違い

	1 2～1 4 外国語教授法の検討 1 5 総括
授業外における学習/Independent Study Outside of Class	・事前に授業ので扱う本の章を読んでくること。 その内容に関する日本語や英語、自分の専攻語の例を考えたり調べたりしてることが期待される。
教科書・教材/Textbooks	パッツィ・M. ライトバウン、ニーナ・スパダ (著)、白井恭弘他 (訳) (2014)『言語はどのように学ばれるかー外国語学習・教育に生かす第二言語習得論』岩波書店 [Lightbown, P. M., N. Spada (2013) How Languages are Learned (Oxford Handbooks for Language Teachers), Oxford University Press.]
参考文献/Reference	迫田久美子 2002『日本語教育に生かす第二言語習得研究』明石書店 小柳かおる 2004『日本語教師のための新しい言語習得概論』スリーエーネットワーク 新多了他2016『はじめての第二言語習得論講義ー英語学習への複眼的アプローチ』大修館書店 その他は授業で紹介する。
成績評価/Grading Policy	出席＋授業貢献度 (発言数) 4 0 % 学期末の課題発表 3 0 % 期末レポート 3 0 % (発表とレポートについての評価項目、基準は授業中に配布する。)
コメント/Other Remarks	特になし。
特記事項/Special Note	特になし。

授業担当教員

教員氏名/Instructor Name	所属・職名・講座名/Affiliation, Title, Course	e-mail/E-mail
データがありません		

学生への注意書き